



コンビーノ 60H-FS 取付説明書

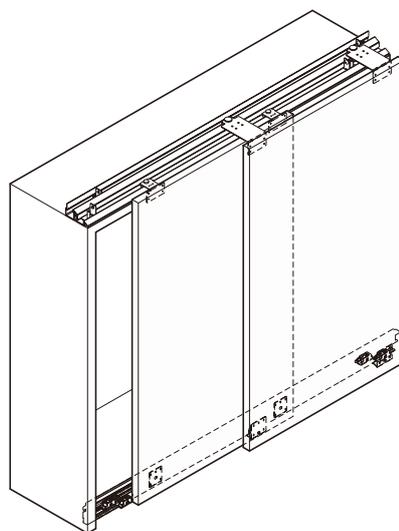
■施工する方へのお願い

このたびは、EKU製コンビーノ 60 H-FSをご採用いただき、誠にありがとうございます。
取付前に本書をよくお読みいただき、正しく施工いただくようお願いいたします。

⚠ 警告

誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをする恐れがあります。
本書の説明、注意事項をお守りください。

- 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。
- 施工中に発生した木材のかすがレールの中に残らないようにきれいに取り除いてください。
- タッピンねじは、最も近い呼びのねじをお使いください。
- 板の小口にタッピンねじを使うときは、板が割れないよう下穴を開けるなどの処置を行ってください。



本書は、ひとつのキャビネットに本製品を取り付けることを想定したうえで、もっとも安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。

したがって、必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。

家具メーカー様におかれましては、専門家としての確たる工程をお持ちと考えますので、この説明書に記載された方法にとらわれず、施工される方の専門技術とご経験に基づいて製作してください。

その場合でも、必ず事前にこの取付説明書に一度目を通してくださるようお願いいたします。

この取付説明書で使っている寸法は、加工や組立による誤差や材料そのものの変形等を考慮しておりません。作業においては、このことをご考慮のうえ、切断等の加工を行ってください。

■取り付けできる扉

扉質量	最大 60kg以下 (扉1枚当たり)
扉厚	24~26 mm
扉寸法	幅 1400 mm以下、高さ 2600 mm以下

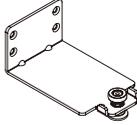
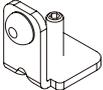
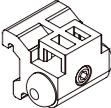
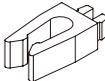
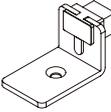
■この説明書で使う工具と準備していただくもの

- ・ 十字ねじ回し 2番
- ・ 六角棒スパナ 呼び3、4
- ・ アルミニウム合金型材を切断できる機械または工具

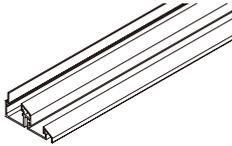
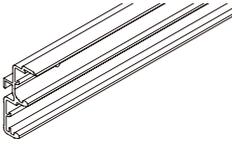
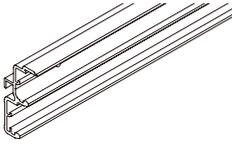
■部品

それぞれ、以下の品番が記載された袋に入っています。

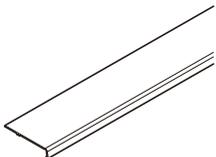
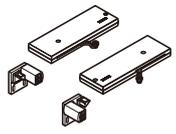
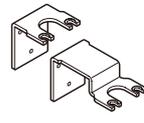
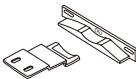
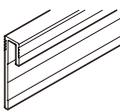
部品セット(2枚扉用)	55-3074-071	部品セット(3枚扉用)	55-3074-072
-------------	-------------	-------------	-------------

<p>①ローラー(内側扉用)</p> <p>2枚扉用 2ヶ</p> <p>3枚扉用 4ヶ</p> 	<p>②ローラー(外側扉用)</p> <p>2枚扉用 2ヶ</p> <p>3枚扉用 2ヶ</p> 	<p>③ガイドローラー(外側扉用)</p> <p>2枚扉用 2ヶ</p> <p>3枚扉用 2ヶ</p> 	<p>④ガイドローラー(内側扉用)</p> <p>2枚扉用 2ヶ</p> <p>3枚扉用 4ヶ</p> 																								
<p>⑤ストッパー</p> <p>2枚扉用 4ヶ</p> <p>3枚扉用 4ヶ</p> 	<p>⑥ストッパー</p> <p>2枚扉用 4ヶ</p> <p>3枚扉用 4ヶ</p> 	<p>⑦キャッチ</p> <p>2枚扉用 2ヶ</p> <p>3枚扉用 3ヶ</p> 	<p>⑧戸当り</p> <p>2枚扉用 1ヶ</p> <p>3枚扉用 1ヶ</p> 																								
<p>⑨戸当り</p> <p>2枚扉用 1ヶ</p> <p>3枚扉用 3ヶ</p> 	<p>⑩幕板クリップ</p> <p>2枚扉用 6ヶ</p> <p>3枚扉用 9ヶ</p> 	<p>⑪戸当り</p> <p>2枚扉用 1ヶ</p> <p>3枚扉用 2ヶ</p> 																									
<p>⑫ねじセット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>2枚扉用</th> <th>3枚扉用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>十字穴付皿タッピンねじ</td> <td>3×10</td> <td>6ヶ</td> <td>9ヶ</td> </tr> <tr> <td>十字穴付皿タッピンねじ</td> <td>4.5×20</td> <td>16ヶ</td> <td>24ヶ</td> </tr> <tr> <td>十字穴付バインドタッピンねじ</td> <td>4×16</td> <td>2ヶ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>十字穴付特殊タッピンねじ</td> <td>4.5×17</td> <td>16ヶ</td> <td>24ヶ</td> </tr> <tr> <td>十字穴付バインドタッピンねじ</td> <td>3.5×35</td> <td>—</td> <td>4ヶ</td> </tr> </tbody> </table>						2枚扉用	3枚扉用	十字穴付皿タッピンねじ	3×10	6ヶ	9ヶ	十字穴付皿タッピンねじ	4.5×20	16ヶ	24ヶ	十字穴付バインドタッピンねじ	4×16	2ヶ	—	十字穴付特殊タッピンねじ	4.5×17	16ヶ	24ヶ	十字穴付バインドタッピンねじ	3.5×35	—	4ヶ
		2枚扉用	3枚扉用																								
十字穴付皿タッピンねじ	3×10	6ヶ	9ヶ																								
十字穴付皿タッピンねじ	4.5×20	16ヶ	24ヶ																								
十字穴付バインドタッピンねじ	4×16	2ヶ	—																								
十字穴付特殊タッピンねじ	4.5×17	16ヶ	24ヶ																								
十字穴付バインドタッピンねじ	3.5×35	—	4ヶ																								

■必要な部品

<p>⑬レール 上用 長さ2500mm 【品番】 55-3046-250</p>  <p>ピッチエンド：約50mm 穴ピッチ：約300mm</p>	<p>⑭レール 上用 長さ3500mm 【品番】 55-3046-350</p>  <p>ピッチエンド：約50mm 穴ピッチ：約300mm</p>	<p>⑮レール 下用 長さ2500mm 【品番】 55-3092-250</p>  <p>ピッチエンド：約50mm 穴ピッチ：約200mm</p>	<p>⑯レール 下用 長さ3500mm 【品番】 55-3092-350</p>  <p>ピッチエンド：約50mm 穴ピッチ：約200mm</p>
--	--	---	--

■オプション部品

<p>⑰カバープロファイル 長さ2500mm 【品番】 55-3130-250</p> 	<p>⑱ソフトクロージングダンパー (扉質量18～35kgタイプ) 【品番】 55-3091-073</p>  <p>1セット/扉2枚当り</p>	<p>⑲ソフトクロージングダンパー (扉質量35～60kgタイプ) 【品番】 55-3042-071</p>  <p>1セット/扉2枚当り</p>	<p>⑳取付座9 【品番】 55-3095-071</p> 
<p>㉑カバー 【品番】 55-3043-079</p>  <p>1セット/扉2枚当り</p>	<p>㉒3枚扉用ストッパー 【品番】 56-3035-071</p> 	<p>㉓ハンドル 長さ2500mm 【品番】 55-3061-250</p> 	

1.オプション部品のソフトクロージングダンパーを併用する場合、以後本文中の右のマークで示した説明と、ソフトクロージングダンパーの取付説明書(別冊)をご確認ください。



2.キャビネットの台輪部分に幕板をつけるときは、幕板の寸法は次のようにしてください。

- [1] 長さは、(KIM/(戸の数))mm にしてください。
- [2] 厚み×幅は、10 mm × 58 mm にしてください。
- [3] 扉の数と同じ数だけを製作してください。

■寸法図

この説明書には、六角形[◆]のあと、“SW”の文字が表示されています。この記号は、六角棒スパナの二面幅の寸法です。

1.寸法の表し方 (図 1-1)

- KIM : キャビネット内幅
- KAM : キャビネット外幅

2.平面方向の寸法

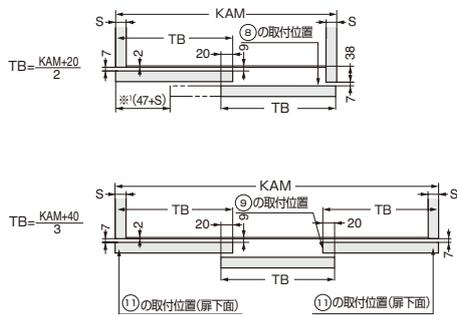
- (1) 図 1-2 中の“TB”の文字は、扉の幅を表しています。
- (2) 扉幅は、扉が閉じたときの戸先がキャビネットの側の外側から、2 mm 内側で止まる場合で設定してあります。
- (3) 2枚引戸のとき (図 1-2 上)
 $TB = (KAM + 20) / 2$
- (4) 3枚引戸のとき (図 1-2 下)
 $TB = (KAM + 40) / 3$

3.扉の各部の寸法 (図 1-3)

断面方向の寸法 (図 1-4)

4.扉の加工

扉の裏側の両側に、図 1-4 の穴を開けてください。



※ 1戸当たり⑧を取り付けた場合に引き残る最低寸法です。

図 1-2

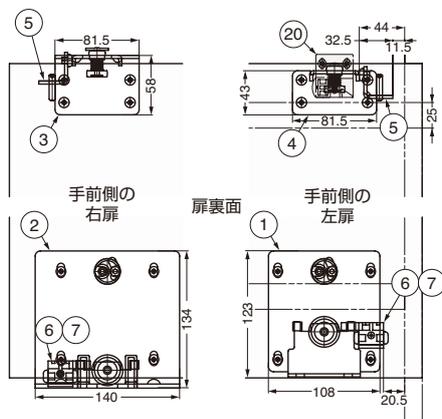


図 1-3

A 間口寸法を確認してください。

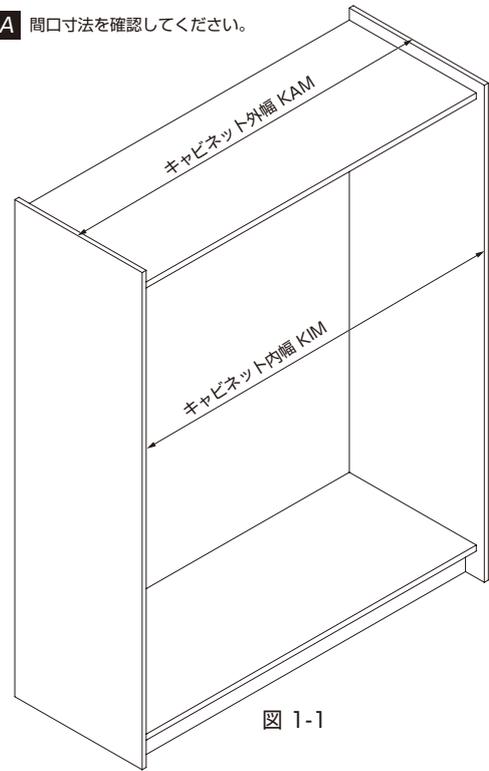


図 1-1

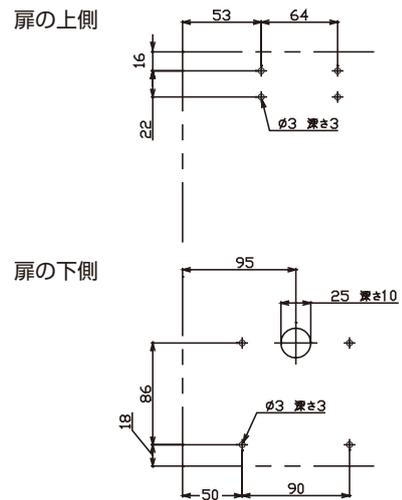
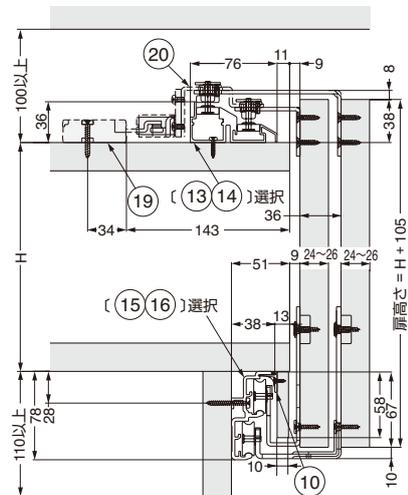


図 1-4



※ 扉の高さは上下合わせて6mmの範囲で調整できます。

図 1-5

■作業手順

1 レールを切断し、取付穴を開けます

(1)上用のレール(⑬または⑭)、および下用のレール(⑮または⑯)を図 2-1-1 のように切断し、穴をあけてください。

[1]KIM と同じ長さに切断してください。

切った位置の都合で取付穴が端から遠く離れてしまう場合は、端から50mm以内のところに穴($\phi 4$)を開けてください。

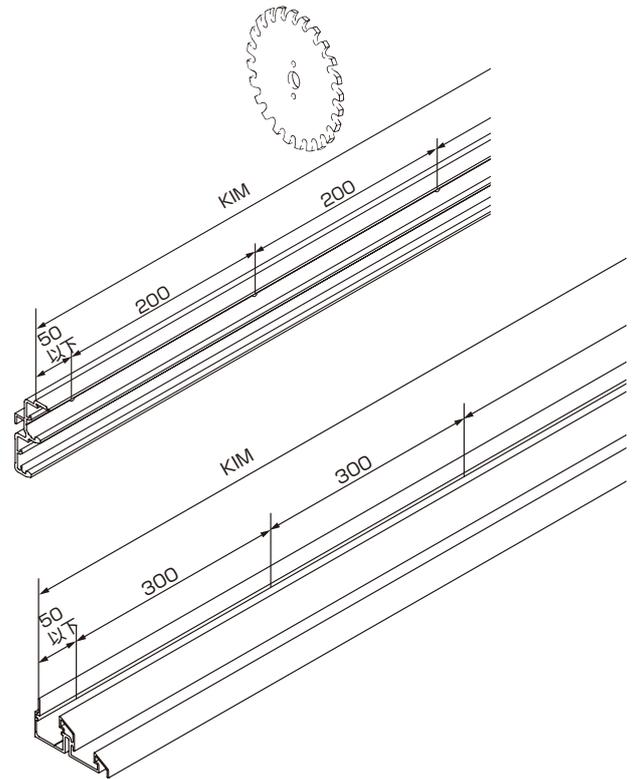


図 2-1-1

(2)カバー⑳(オプション)を切断してください
(図 2-1-2)。

カバーの長さは、TB (扉幅)と同じ長さに切断してください。

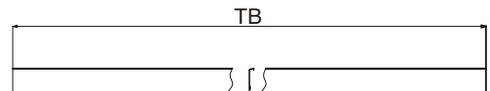


図 2-1-2

(3)ハンドル㉑(オプション)を切断してください
(図 2-1-3)。

[1]ハンドルの長さは 最大で TH mmです。

[2]ハンドルを付けるときは、扉の縁に加工が必要です(図 2-9-2 をご覧ください)。



図 2-1-3

② レールにストッパーを組み込みます。

(1)下用のレール(⑮または⑯)ストッパー⑥およびキャッチ⑦を図 2-2-1 のように組み込んでください。

[1]ストッパー⑥にキャッチ⑦を次のように組み込んでください。

- <1>左用・右用とも一組ずつ作ってください。
- <2>3枚戸のときは、中央の戸を左に動かすときは右用を、右に動かすときは左用を作ってください。
- <3>ここで組んだ物をストッパー組立と呼びます。



ソフトクロー징ダンパー(オプション)を併用する場合はキャッチ⑦部分は使用しません。

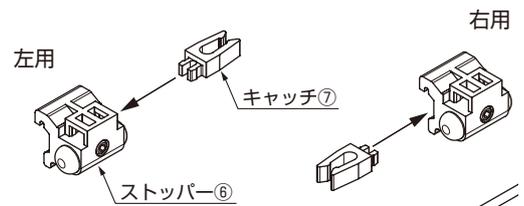
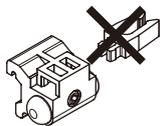


図 2-2-1

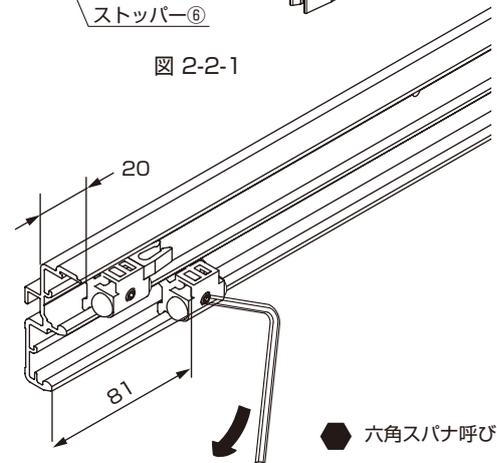
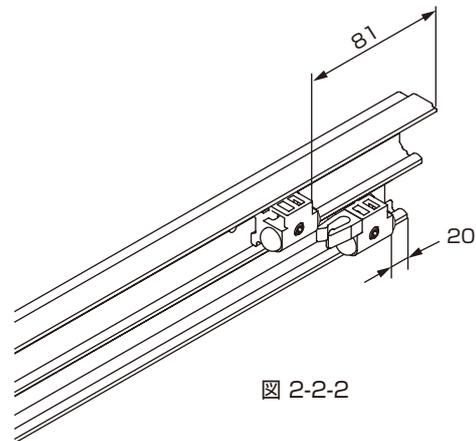


図 2-2-2

[2]下用のレール(⑮または⑯)に、ストッパー⑥とストッパー組立を図 2-2-2 のように組み込んでください。

<1>位置は、左右対称ではないので、ご注意ください。

<2>ストッパー組立のキャッチ⑦は、中央に向くように組み込んでください。



(2)上レール(⑬または⑭)にストッパー⑤を2-2-3のように組み込んでください。

[1]上用レール(⑬または⑭)にストッパーを左右から組み込んでください。

[2]位置は、左右対称ではありません。ご注意ください。

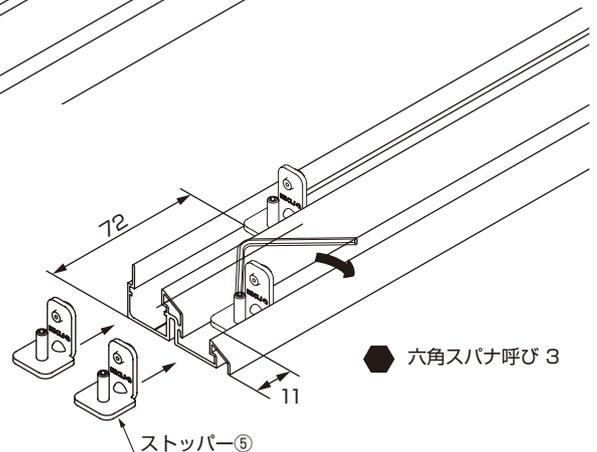
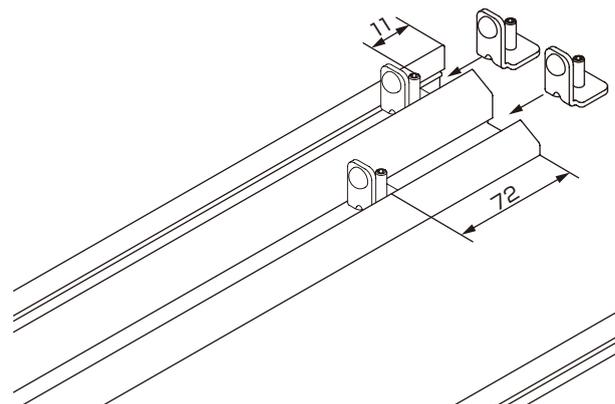


図 2-2-3

③ レールをキャビネットに取り付けます

(1)上用のレール(⑬または⑭)をキャビネットに図 2-3-1および次のようにキャビネットへ取り付けてください。

[1]キャビネットの天板の上に、その幅の中心と上側レール(⑬または⑭)の長さの中心を合わせ、奥行方向は図 2-3-2の寸法で、ねじで取り付けてください。

[2]キャビネット内側からねじで呼び込むときは、図 2-3-3のようになります。

(2)下用レール(⑮または⑯)を台枠に、固定してください。(図 2-3-4)

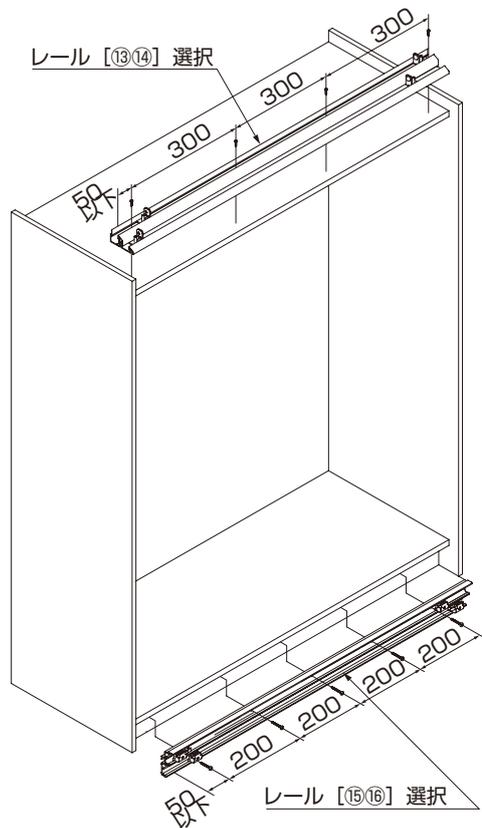


図 2-3-1

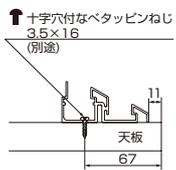


図3-3-2

このような方法でも取付可能です。

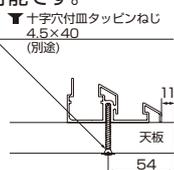


図3-3-3

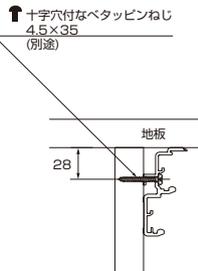


図3-3-4

④ 扉にガイドを組みこみます

内側の扉には内側用のガイドローラー④、ローラー①、外側の扉には外側用のガイドローラー③、ローラー②を上下それぞれに組み込んでください。(図3-4-1)

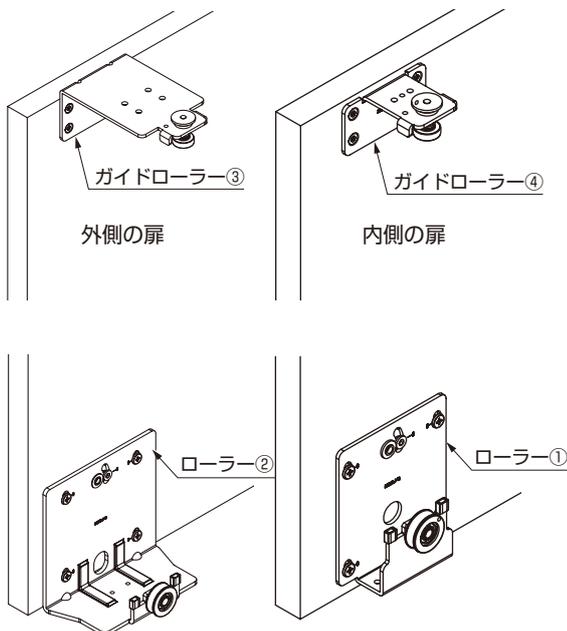


図 2-4-1

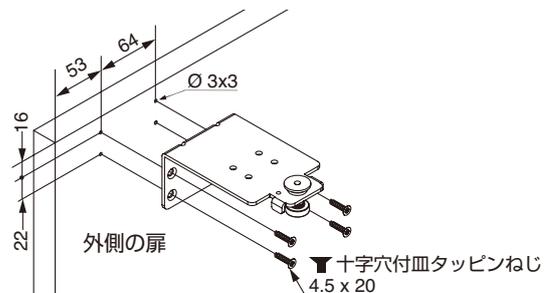


図 2-4-2

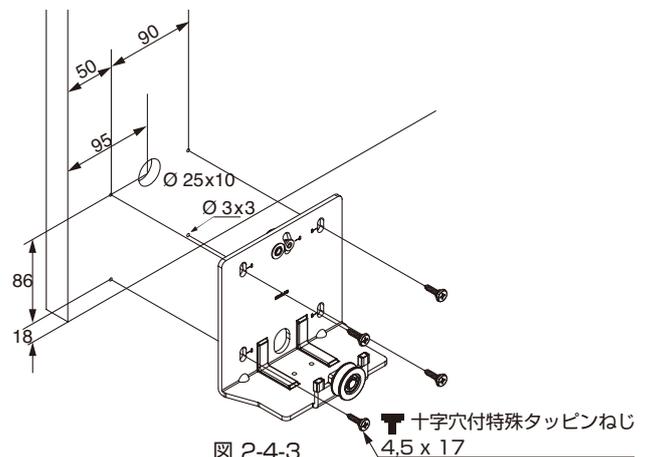


図 2-4-3

5 扉をキャビネットに組み込みます

(1)内側扉の下側のローラー①を、下用のレール(⑮または⑯)に先に組み込んでください。それから、ガイドローラー④を上用のレール(⑬または⑭)に組み込んでください。

(図 2-5-1)

(2)外側扉を、同じようにキャビネットに組み込んでください。

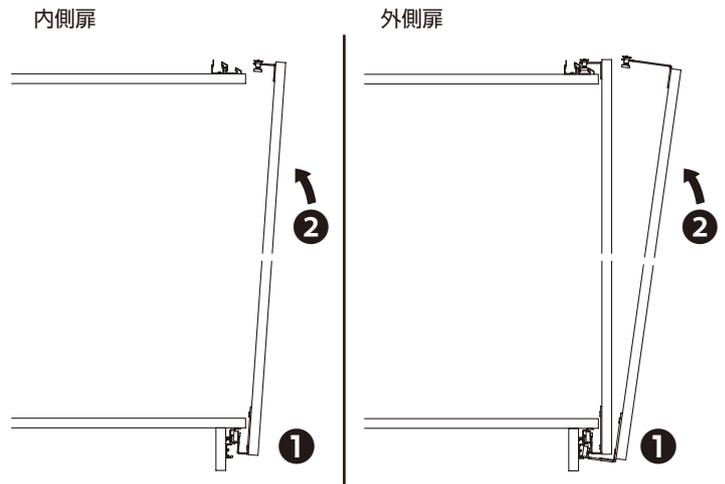


図 2-5-1

(3)ガイドローラー(③および④)のローラ幅の全体が、レール(⑬または⑭)の平面部の中に完全に納まるよう取り付けてください。(図 2-5-2の左の図)

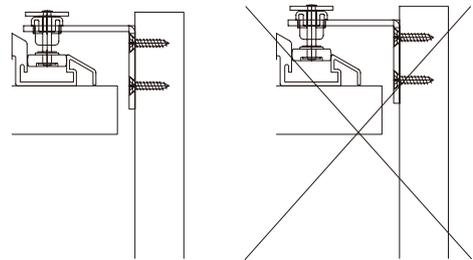


図 2-5-2

(4)調整は、ローラー(①および②)にあるねじを①～③の手順で回して行ってください。(図 2-5-3)

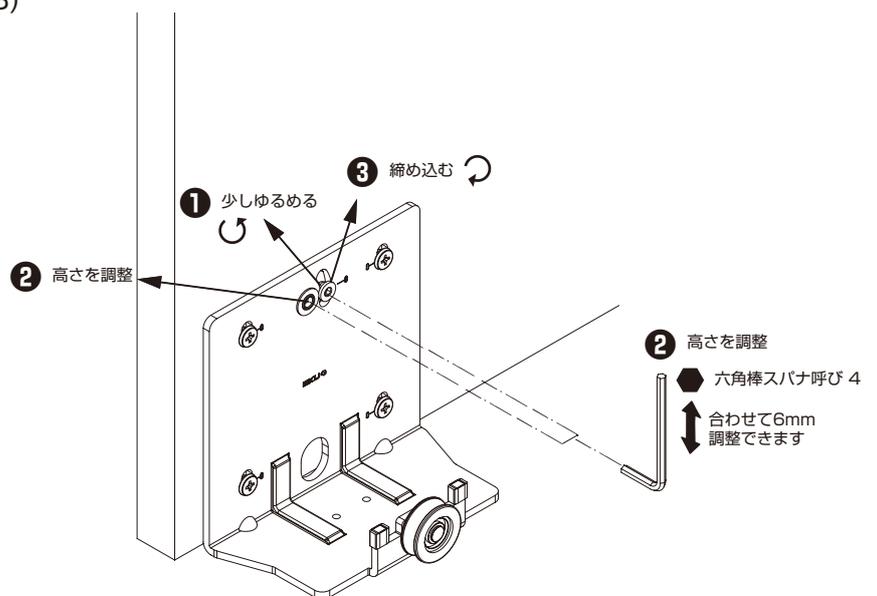


図 2-5-3

6 幕板を取り付けます

(1)幕板の裏側に、幕板クリップ⑩を図 2-6-1のように止めてください。

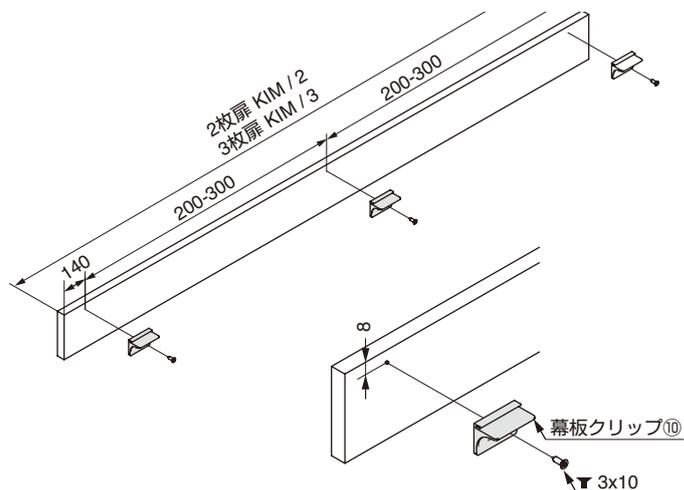


図 2-6-1

(2)幕板をキャビネットに組み込んでください。
(図 2-6-2、図 2-6-3)

組込みは、幕板クリップ⑩を下用のレール(⑮または⑯)に差し込むようにしてください。

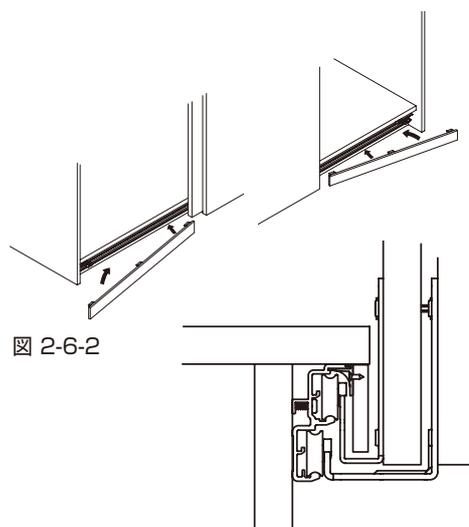


図 2-6-2

図 2-6-3

7 戸当り(⑧または⑪)を取り付けます

(1)2枚扉の場合、戸当り⑧は、扉の高さの中心に取り付けてください。

(2)3枚扉の場合、戸当り⑪は、内側用扉の下面(キャビネット側板寄り)に取り付けてください。

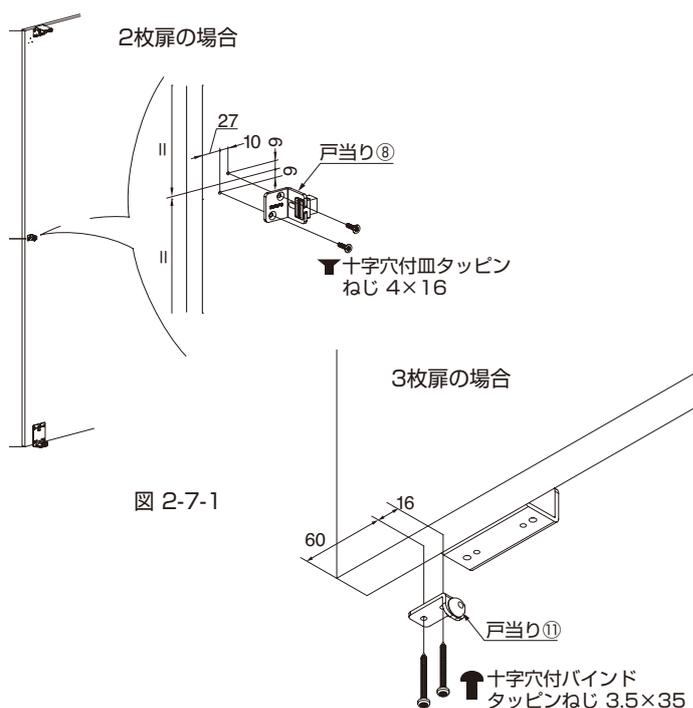


図 2-7-1

図 2-7-2

⑧ 3枚扉用ストッパー②を取り付けます (オプション)

(1)3枚扉用ストッパー②の幅方向の中心を、外側の戸を止めておきたい位置のローラー(外側戸用)②のローラの中心に合わせ、位置を決めてください。

(2)キャビネットに3枚扉用ストッパー②を取り付けてください。

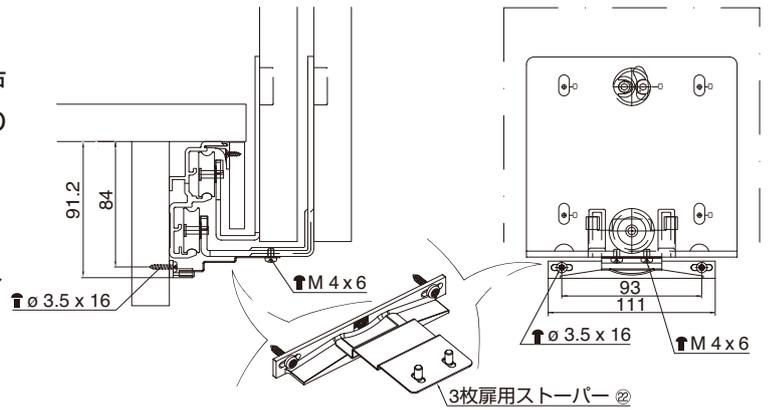


図 2-8-1

⑨ ハンドル③を取り付けます(オプション)

(1)ハンドルを図 2-9-1および図 2-9-2のように扉にねじ止めしてください。

(2)ハンドルのエッジは、危険防止のため端面の角を落としてください。(図 2-9-3)。

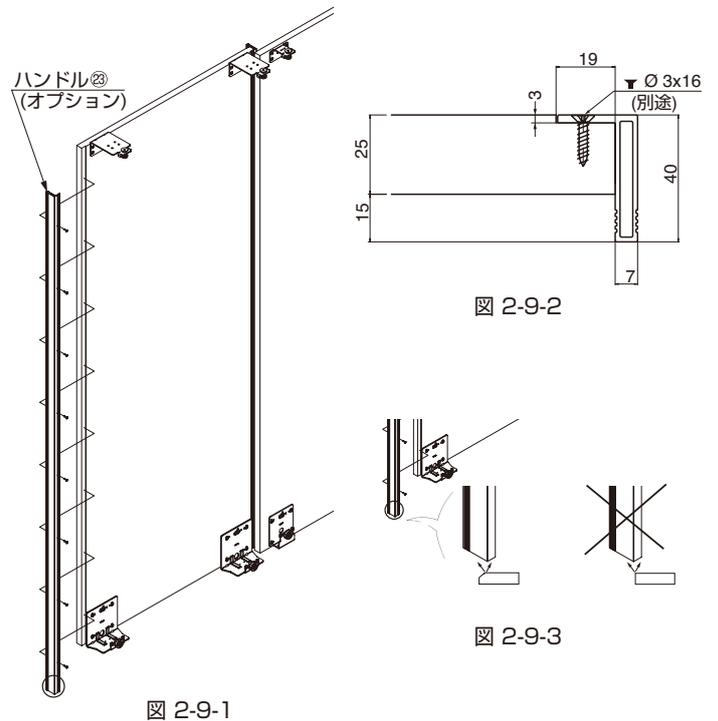


図 2-9-2

図 2-9-3

図 2-9-1

⑩ カバー④を取り付けます(オプション)

(1)ガイドローラー(外側扉用)③の天辺に両面粘着テープ(別途ご用意ください)で接着してください。

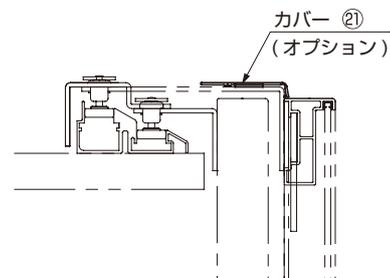


図 2-10-1

II 戸当り⑨を取り付けます(3枚扉)

開閉仕様により取付位置を決めてください。

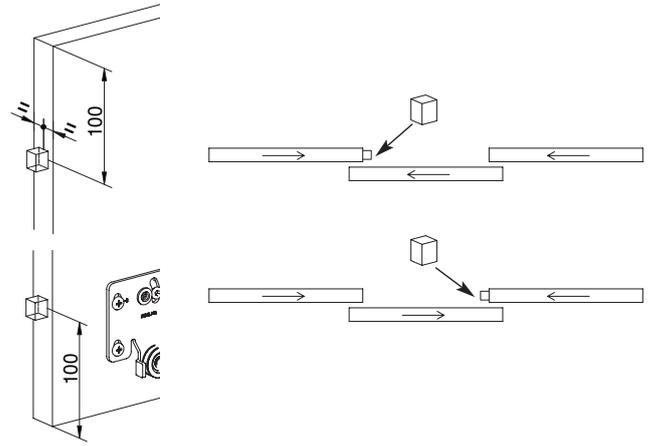


図2-11-1

本書に記載された製品の品名・品番・仕様・外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03(3864)1122**
受付時間 月～金 **9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875
E-mail: support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE **スガツネ工業**
LAMP印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>